

クロマト分離用樹脂の試験方法

三菱ケミカル株式会社

分離材事業部

〒100-8251 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル

3 実験手順（フルクトース／グルコース分離）

- 3.1 水に浸漬した樹脂をメスシリンダーに入れ、水中の樹脂面が安定するまでメスシリンダーをゴム棒等で軽くたたき、カラムの内容積になるように樹脂量を調整する。
- 3.2 カラム下部のフィルター部分の空気を、カラム下部から脱塩水を流して追い出す。
- 3.3 下部から 5 cm まで脱塩水を張ったカラムに、所定の体積の樹脂を脱塩水とともに流し込む。
- 3.4 樹脂を充填した後、樹脂面の上 2 cm になるように液面を調整する。
- 3.5 次に所定量の原料を、流速 SV0.5～1.0 でカラムに注入する。
- 3.6 続けて、コックを切り替え、同じ流速で脱塩水をカラムに通水する。
- 3.7 通水開始後、樹脂量の 1/40 の分量（フラクション）で流出液をサンプリングする。
- 3.8 各サンプルを分析して、流出パターンを作製する。

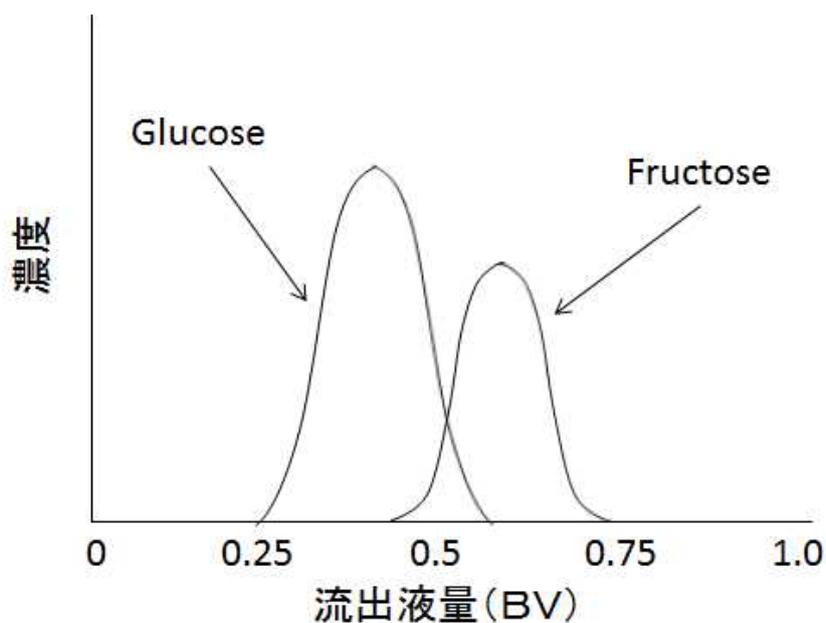


図3 流出パターン